

平成 27 年 4 月開校に向けて

中学校統合についての経過報告

平成 22 年度に策定された『第 4 次鞍手町総合計画後期基本計画』において、学校の再編を行うことが位置付けられ、これを受けて、平成 23 年度から中学校の統合に向けた取り組みを進めています。平成 23 年度に「小中学校統合整備計画策定委員会」を設置し、学校の適正配置について検討を重ねてきました。この検討結果を踏まえ、まずは中学校の統合を行うこと、新中学校は九州工業技術専門学校跡地を活用して設置することを決定しました。また、九州工業技術専門学校を購入する議案を平成 24 年 4 月 24 日の臨時町議会に提出し議決されました。これらについては、平成 24 年 6 月号の広報に掲載してお知らせいたしました。

平成 23 年度に引き続き平成 24 年度において、学校の施設整備や安全な通学路、通学手段について検討を続けてきましたので、その内容についてお知らせいたします。

■統合に向けた主なスケジュール（平成 24 年 4 月～平成 27 年 4 月開校まで）

年 月	主 な 内 容
平成 24 年 4 月	九州工業技術専門学校の土地建物の売買契約締結 仮契約後に臨時町議会 (H24.4.24) の議決を経て本契約
平成 24 年 5 月	小中学校統合整備計画策定委員会を開催 (H24.5.29) これまでの経過について説明
平成 24 年 7 月	小中学校統合整備計画策定委員会を開催 (H24.7.10) 主要通学路（素案）、中学校改修等整備実施設計業務委託業者の選定方法、 新中学校名の募集方法について協議
平成 24 年 7 月	中学校改修等整備実施設計業務の委託業者選定 (H24.7.25) プロポーザル方式により決定（業者名：西日本技術開発株式会社）
平成 24 年 8 月	臨時町議会 (H24.8.8) で進捗状況を報告 これまでの経過、設計業務委託業者の決定、新中学校名募集について報告
平成 24 年 10 月	小中学校統合整備計画策定委員会を開催 (H24.10.16) 校舎等整備計画や通学路整備の進捗状況を説明、バス通学についての協議、 新中学校名の選定
平成 24 年 11 月	11 月定例教育委員会において新中学校の名称決定 8 月に応募された案の中から決定（学校名：鞍手町立鞍手中学校）
平成 24 年 11 月	小中学校統合整備計画策定委員会を開催 (H24.11.29) 通学路整備の進捗状況を説明、バス通学についての協議
平成 24 年 11 月	P T A 連絡協議会による専門学校見学の実施 (H24.11.17)
平成 24 年 12 月	12 月定例議会 (H24.12.19) で進捗状況を報告 新中学校名の決定、通学路整備の検討状況について報告
平成 25 年 2 月	小中学校統合整備計画策定委員会を開催 (H25.2.21) バス通学についての協議
平成 25 年 8 月	校舎改修工事、体育館・プール新築工事などを開始（予定）
平成 26 年 8 月	グラウンド等の工事、上下水道工事などを開始（予定）
平成 27 年 4 月	中学校開校

◇中学校改修等整備実施設計を
委託する業者を決定しました
(平成24年7月)

新中学校の校舎は、専門学校の校舎を改修して活用すること、また体育館やプールは新築することとしています。改修・新築工事を行うには、設計書を作成する必要があるため、これを設計業者に委託することにしました。業者は「プロポーザル方式」で決定しました。「プロポーザル方式」とは、「設計案」そのもので選ぶのではなく、設計を委託するのに最も適した「設計者」を選ぶ方式です。技術力や経験、体制などを含めた「提案書」を提出してもらい、その評価によって選ぶ方式で、設計者を決定した後に、発注者と設計者が打ち合わせをしながら設計案を作成することができますという利点があります。

7月25日に選考委員会（保護者代表4名、中学校長2名、行政職員6名、大学教授1名の13名）を開催し、設計業者を決定しました。

●設計委託業者 西日本技術開発株式会社
(福岡市中央区春吉一丁目7番11号)
設計書完成予定・平成25年3月下旬

◇新中学校の名称が決定しました
(平成24年11月)

新中学校の名称を8月号のくらべて広報及び町ホームページで募集したところ、143件

(うち小学生から66件、中学生から36件)、71個の名称案の応募がありました。両中学校で組織する「中学校統合準備検討委員会」で1次選定を行い5案(鞍手中学校、鞍手中央中学校、鞍橋中学校、平鞍中学校、くらじの丘中学校)に絞り込みました。その後、「小中学校統合整備計画策定委員会」で2次選定を行ったところ、5案からの更なる絞り込みはありませんでしたが、「鞍手中学校」を強く推すとの意見がありました。この選定結果を受け、10月の定例教育委員会名称を協議し、新中学校の名称が決定されました。

●新中学校名 鞍手町立鞍手中学校

◇バス通学の方法について

検討を続けています

新中学校までの通学手段として、コミュニティバスを活用して通学ができるように検討をしています。バスの台数や運行ルート、時刻や便数、バス運賃について関係部署と協議を重ねていく必要があります。特にバス運賃については、遠距離通学の生徒の家庭負担が大きくなるように検討中です。「義務教育諸学校等の設置費の国庫負担等に関する法律施行令第4条」では、中学校の通学距離はおおむね6km以内とされていますが、教育委員会ではおおむね4km以上を遠距離通学として考え、家庭負担の軽減ができるように検討をしていきます。

◇通学路の安全対策を
進めていきます

新中学校までの主要な通学路となり得る道路(県道・町道)の危険箇所について、県道建設課・教育課で9月20日に、町道部分は役場建設課で9月下旬に現地確認をしました。様々な視点から確認を行い、歩道の新設や拡幅、路側帯の拡幅、信号機や横断歩道の設置などが可能かどうかを検討しています。この現地確認後に転落防止策の設置やカラー舗装をすることなどが決まった箇所があります。用地買収が必要な箇所など、整備に時間がかかる部分もありますが、今後も引き続き関係部署と協議を重ね、可能な限り安全な通学路となるように最大限の努力をしていきます。

△産業道路沿い



△ナフコ付近交差点



■新中学校施設の概要

- ①校舎
- ②体育館
- ③プール
- ④グラウンド
- ⑤野球場
- ⑥テニスコート（体育館裏）



【施設の概要】

敷地面積 129,500.73㎡

工事種別 改修工事【校舎・野球場】

新設工事【体育館・プール・グラウンド・テニスコート・部室・倉庫等】

主要用途 中学校

構造規模 校舎（鉄骨造）、体育館（鉄筋コンクリート造）

建築面積 11,741.2㎡（全体）、6,115㎡（校舎）、2,711.58㎡（体育館）

延べ面積 19,348.05㎡（全体）、10,734.44㎡（校舎）、3,508.37㎡（体育館）

工期予定 校舎改修・体育館・プール（平成 25 年度）

野球場改修・テニスコート・グラウンド・外構工事（平成 26 年度）

【体育館の基本的な考え方】

◆緑豊かな敷地を背景に、シンプルな形状のボリュームの組み合わせとすることで、落ち着いた印象を与え、周辺環境へ馴染む外観とし、また、外壁色には自然豊かな色調をベースとし、温かみのある雰囲気づくりをめざします。

◆部室などがある東側校舎サイドには、変化のある開口部を設けることで、ボリューム全体に柔らかな表情を付け、北側グラウンドサイドには、天井までガラス面とすることで、空の見える体育館とし、敷地の眺望を生かした、明るく開放的な体育館とします。

◆内部は明るく開放的な空間とし、木質系の材料を用いることで、温かみのある空間とします。

